

# 第 3 5 回 京 都 府 民 総 合 体 育 大 会

## 体 操 競 技 ・ 新 体 操 選 手 権 大 会

### 兼 平 成 2 4 年 度 京 都 府 高 等 学 校 体 操 競 技 ・ 新 体 操 秋 季 選 手 権 大 会

## 実 施 要 項

主 催 京都府・(財)京都府体育協会・京都府教育委員会  
 京都市・京都市教育委員会・京都府市長会  
 京都府町村会・京都府市町村教育委員会連合会  
 主 管 京都体操協会・京都府高等学校体育連盟体操専門部  
 京都府中学校体育連盟体操専門部  
 後 援 向日市・向日市教育委員会

- 1 期 日 平成24年8月10日(金)～12日(日)
- 2 会 場 向日市民体育館 向日市森本町小柳23-1 Tel 932-5011
- 3 競技種別  
 (ア) 体操競技 男子・女子 (個人選手権・種目別選手権)  
 (イ) 新体操 男子・女子 (団体競技選手権・個人競技選手権・種目別選手権)
- 4 競技日程 参加申込終了後、調整・決定し京都体操協会HPにて公開する。
- 5 競技規則 日本体操協会競技規則及び採点規則(全国高校適用)及び別紙採点規則による。
- 6 競技方法  
 (ア) 体操競技

性別	選手権別	競技方法
男子	チーム選手権 (一般の部)	(ア) 一般の部・高校生の部(学年別) 自由演技の得点により順位を決定する。
	個人選手権	(イ) 中学生の部(学年別) ゆか・跳馬・鉄棒の自由演技の得点により順位を決定する。 縦10cm・横15cm, 黒字のゼッケンをつけること。
	種目別選手権	(ウ) 小学生の部(学年別) ゆか・円馬・跳馬・鉄棒の規定演技(京都体操協会の定める演技)または自由演技の得点により順位を決定する。 縦10cm・横15cm, 黒字のゼッケンをつけること。
女子	チーム選手権 (一般の部)	(ア) 一般の部・高校生の部(学年別) 自由演技の得点により順位を決定する。
	個人選手権	(イ) 中学生の部(学年別) 跳馬・平均台・ゆかの自由演技の得点により順位を決定する。 縦10cm・横15cm, 赤字のゼッケンをつけること。
	種目別選手権	(ウ) 小学生の部(学年別) 跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの規定演技(京都体操協会の定める演技)または自由演技の得点により順位を決定する。 縦10cm・横15cm, 赤字のゼッケンをつけること。

※ 中学生の部において、男子はあん馬・つり輪・平行棒、女子は段違い平行棒を奨励種目としておこなう。  
 ※ 一般の部チーム選手権は4人のベスト3とし、同一チームからの複数参加は可とする。

(イ) 新体操

性別	選手権別	競技方法
男子	チーム選手権	(ア) 一般の部 演技の得点により順位を決定する。 (イ) 高校生の部 演技の得点により順位を決定する。
	個人競技選手権	(ア) 高校生の部 (学年別) 「リング」・「ロープ」の2種目の合計得点により順位を決定する。 (イ) 中学生の部 (学年別) 「スティック」・「リング」の2種目の合計得点により順位を決定する。
	種目別選手権	(ア) 一般の部 (出場は2種目までとする) 各種目別の得点により順位を決定する。 (イ) 高校生の部 個人競技の各種目別の得点により順位を決定する。
女子	チーム選手権	(ア) 高校生の部「リボン3・フープ2」とする。 (イ) ジュニアの部「ロープ5」とする。
	個人競技選手権	(ア) 高校生の部 (学年別) 「クラブ」・「リボン」の2種目の合計得点により順位を決定する。 (イ) 中学生の部 (学年別) 「クラブ」・「リボン」の2種目の合計得点により順位を決定する。
	種目別選手権	(ア) 一般の部 (出場は2種目までとする) 各種目別の得点により順位を決定する。 (イ) 高校生の部 (学年別)・中学生の部 (学年別) 個人競技の各種目別の得点により順位を決定する。 (ウ) 小学生高学年の部 「ロープ」を除く4種目のうち2種目以内を演技し種目ごとの得点により順位を決定する。 (エ) 小学生低学年の部 徒手の演技をおこない、得点により順位を決定する。

7 参加資格

- (ア) 選手は日本体操協会に平成24年度の選手登録を完了した者とする。  
(イ) 選手は必ず引率責任者または顧問が必ず引率すること。  
(ウ) 小・中学生においては保護者、または委任された責任者が引率すること。  
(エ) 選手は事前に医師の診断を受け、所属長が認めたものとする。  
(オ) 平成23年度近畿ジュニア新体操選手権大会の出場資格を得た者(補欠は除く)は本大会に出場できない。**※ただしオープン参加での出場は可能とする。**  
(カ) 新体操については以下のとおりとする。  
① 小学生高学年の部の出場選手は5年生及び6年生とする。  
② 小学生低学年の部の出場選手は4年生以下とする。  
③ 女子団体競技選手権の区分は高校生の部および小中学生の部とし、小中学生の部の選手の編成は小学5年生から中学3年生までとする。

8 参加申込

- (ア) 申込方法 京都体操協会HPのWebエントリーにより申し込みをおこなったうえ、参加申込書を作成し下記宛に申し込むこと。  
申込先 〒604-8384 京都市中京区西ノ京式部町1  
京都府立朱雀高等学校内 鏝田 みどり 宛  
Tel 075-841-0127 Fax 075-841-0646  
(イ) 申込期間 平成24年7月2日(月)～7月20日(金)  
(ウ) 参加料 1名 3,500円、一般の部団体 14,000円  
**※下記口座宛、銀行振込とする。**  
(エ) 納入方法 下記口座宛に7月20日(金)までに振り込むこと。(手数料自己負担)  
参加料振込先 : 京都銀行三宅八幡支店  
普通口座 3164366  
代表者名 京都体操協会 理事長 山形敏明 (ヤマガタ トアキ)

9 表 彰

種 別	選手権別	部 別	賞 状	メ ダ ル
体操競技	チーム選手権	一般の部	1位～6位	***
	個人選手権	一般の部	1位～6位	1位～3位
		高校生の部	学年別1位～6位	学年別1位～3位
		中学生の部	学年別1位～6位	学年別1位～3位
		小学生の部	学年別1位～6位	学年別1位～3位
	種目別選手権	一般の部	1位～6位	***
		高校生の部	学年別1位～6位	
		中学生の部	学年別1位～6位	
小学生の部		学年別1位～6位		
新体操	チーム選手権	一般の部	1位～6位	***
		高校生の部	1位～6位	
		ジュニアの部	1位～6位	
	個人選手権	高校生の部	学年別1位～6位	学年別1位～3位
		中学生の部	学年別1位～6位	学年別1位～3位
	種目別選手権	一般の部	1位～6位	***
		高校生の部	学年別1位～6位	
		中学生の部	1位～6位	
		小学生高学年の部	1位～6位	1位～3位
		小学生低学年の部	1位～6位	1位～3位

※ 中学生の部における奨励種目も表彰の対象とする。  
 (男子：あん馬・つり輪・平行棒女子：段違い平行棒)

10 諸会議

顧問・引率者の何れかは監督会議に出席すること。欠席の場合は選手の出場を認めない。  
 監督会議 平成24年8月10日(金) 9時15分～  
 審判会議 平成24年8月10日(金) 監督会議終了後

11 その他

- (ア) 8月9日(木) 12:00より会場設営をおこなうので、参加者は協力すること。
- (イ) 小・中学生のゼッケンは縦10cm・横15cm 男子は黒・女子は赤色でお願いします。
- (ウ) 参加者は大会運営にかかる競技補助員に協力すること。
- (エ) 競技中の負傷などの応急手当ては行うが、その後の責任は負わない。
- (オ) 参加チームは所属のプラカードを用意すること。
- (カ) 向日市民体育館の開館は9:00とする。
- (キ) 申込み時に今年度団体登録を行っていない団体は、京都体操協会 HP より団体登録行ってから Webエントリーにより申し込みをすること。

# 京都府民総合体育大会小学生女子採点規則について

## 学年別大会(表彰も学年別 個人総合1位～3位メダル・賞状 1位～6位賞状・種目別1位～6位賞状)

全体について Eスコア及びその他については2009年度版(変更I)に準ずる  
**変更Iで認められている要素(平均台・床)は、構成要求として認められる。**

**跳馬** 新型跳馬110cm 3助走2跳躍

### 採点の観点

- 各跳躍に対して突き手・高さ・回転が正確に実施されているものを評価し、失敗に対しては、はっきりし減点する。
- 美しい体線での実施
- スピードと迫力のある実施

### Dスコア

難度表にないものはA難度とし次の通りとする

<b>台上前転</b>	<b>1.00</b>
-------------	-------------

※ 実施減点は5.00から減点

**平均台** 高さ125cm 台下には20cmマット  
 着地には20cm、10cmマットを使用可  
 (2枚重ねても可)

### 採点の観点

- 美しい姿勢での演技。
- リズムの変化、めりはりと流れるような演技。
- 技は正確な姿勢でおこなう。
- 技の前の精神集中のための停止は厳しく減点していく。

### Dスコア

- CR 各0.5
1. **難度表にあるリープ・ジャンプ・ポップの要素を1つ(伸身・かかえこみ 可)**
  2. グループ3のターン(180度以上)
  3. 側方のアクロバット系要素
  4. 前方または後方の  
 アクロバット系要素(前転、後転可)
  5. 終末技(ダンス系は不可)  
 難度表にあるものには0.5、  
 ないものには0.3を与える

※終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。  
 アクロバット系の技は最大5つ、ダンス系の技は少なくとも3つ

**段違い平行棒** 高さ 高棒250cm 低棒170cm

### 採点の観点

- 難度に対しては技術の正確な実施を要求する。
- 肘の曲がり膝、つま先のゆるみが無い美しく伸びた体線での実施。
- 演技の中断については厳しくチェックする。
- スピードと迫力のある実施

### Dスコア

CR すべての選手に2.5点与える。  
 同一技は2回まで要素として数える。

低棒または、高棒のみの演技構成でも良い

※ **逆上がり、フット下りはA要素として認める**

### 短い演技

について 4要素以下の場合実施減点は下記から始まる

4要素	9.00～	3要素	8.00～
2要素	7.00～	1要素	6.00～

### 床

### 採点の観点

- 技は正確な姿勢でおこなう。
- 躍動感ある演技。
- 美しい姿勢での演技。

### Dスコア

- CR 各0.5
1. 180度の前後開脚の跳躍技を1つは含む  
 少なくとも2つの異なるダンス系での移動  
 ※ 1つ目のジャンプの着地は片足でなければならない  
 床面を大きく移動すること
  2. 片足上のターン(360度以上)
  3. 異なる3つの要素で組み合わせた  
 アクロバットシリーズ(ブリッチ・側転可)
  4. 前方または側方と後方の  
 アクロバット要素(ブリッチ・側転可)
  5. 終末技(ダンス系は不可)  
 難度表にあるものには0.5、  
 ないものには0.3を与える

同一技は2回まで要素として数える。

※終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。  
 アクロバット系の技は最大5つ、ダンス系の技は少なくとも3つ

## 京都府民総合体育大会中・高生女子採点規則及び総体規則について

学年別大会(表彰も学年別 個人総合1位～3位メダル・賞状 1位～6位賞状・種目別1位～6位賞状) 府民大会のみ

全体について Eスコア及びその他については2009年度版(変更I)に準ずる

**変更Iで認められている要素(平均台・床)は、構成要素として認められる**

**跳馬** 新型跳馬125cm 3助走2跳躍

**段違い平行棒** 高さ 高棒250cm 低棒170cm

採点の観点

- 各跳躍に対して突き手・高さ・回転が正確に実施されているものを評価し失敗に対しては、はっきりし減点する。
- 美しい体線での実施
- スピードと迫力のある実施

採点の観点

- 難度に対しては技術の正確な実施を要求する。
- 肘の曲がり膝、つま先のゆるみが無い、美しく伸びた体線での実施。
- 演技の中断については厳しくチェックする。
- スピードと迫力のある実施

Dスコア 難度表にないものはA難度とし次の通りとする

台上前転	1.00
------	------

※ 実施減点は、5.00から減点

Dスコア 6要素以上最大8要素で構成。

CR すべての選手に2.5点与える。

同一技は2回まで要素として数える。

低棒または、高棒のみの演技構成でも良い

※ 逆上がりは1要素として認める

短い演技 **5要素以下の場合実施減点は下記から始まる**

について	5要素	9.00～	4要素	8.00～
	3要素	7.00～	2要素	6.00～
	1要素	5.00～		

**平均台** 高さ125cm

**床**

採点の観点

- 美しい姿勢での演技。
- リズムの変化、めりはりと流れるような演技。
- 技は正確な姿勢でおこなう。
- 技の前の精神集中のための停止は厳しく減点していく。

採点の観点

- 技は正確な姿勢でおこなう。
- 躍動感ある演技。
- 美しい姿勢での演技。

Dスコア

CR 1, 180度開脚(前後開脚姿勢のみ)の  
各0.5 リーブ・ジャンプ・ポップを1つは含む少なくとも  
2つの異なる技からなるダンス系の組み合わせ

- ターン(グループ3)
- 側方のアクロバット系要素
- 前方または後方のアクロバット系要素(前転、後転可)
- 終末技(ダンス系不可)  
難度表にあるものには0.5、ないものには0.3を与える

※終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

アクロバット系の技は最大5つ、ダンス系の技は少なくとも3つ

Dスコア

CR 1, 180度の前後開脚の跳躍技を1つは含む  
各0.5 2つの異なるダンス系での移動

- 片足上のターン(360度以上)
- 異なる3つの要素で組み合わせた  
アクロバットシリーズ(ブリッチ・側転可)
- 前方または側方と後方のアクロバット要素  
(ブリッチ・側転可)
- 終末技(ダンス系は不可)  
難度表にあるものには0.5、ないものには0.3を与える  
同一技は2回まで要素として数える。

※終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

アクロバット系の技は最大5つ、ダンス系の技は少なくとも3つ